

第1回

令和6年 5月11日(土) 10時～12時

教材番号 26 「スマホ！」うちではどうする？！

～身につけたいスマホリテラシー～ (アレンジ版)

主催団体など	社会福祉法人 さくら福祉会 児童家庭支援センター コスモス
開催場所	フジタスクエア まるくる大野
対象者	小学生～高校生、またはその保護者
参加者数	14人
ファシリテーター	メイン： 中丸 直見さん サブ： 神原 彩乃さん、永谷 紀美子さん、西田 弘展さん、藤嶋 教子さん、 光井 祐子さん、渡辺 万里子さん

● 講座の目的

最近、スマホ依存から家庭内のトラブルに繋がる相談が増えている。スマホの取扱方法や医療、療育の専門的な研修ではなく、親子の信頼関係の大切さ、家族がどう向き合えば良いのかを考えるきっかけにしたい。

● 講座の様子

1. オリエンテーション

あいさつ、親プロの説明、ファシリテーターを紹介。

2. アイスブレイク

絵本「ママのスマホになりたい！」をメインファシリテーターが朗読。

*子どもは親が大好き！親も子どもが大好き！

*スマホを触っている時間が長いのは、子どもだけでなく、親も見ているよ！

という気づきがあったあと、本日のテーマに入った。

グループに分かれて、着席。

グループ内で自己紹介をしてもらう。

3. 3つの約束プラス1を確認し、プログラムに沿って進行

設問③「最近、スマートフォン等の利用について、心配なことや気づいたこと、感じていることがありますか？」では、グループ内で各自の意見を付箋に書いて話し合い。その結果を発表。参加者全員で共有した。



* スマホは悪い

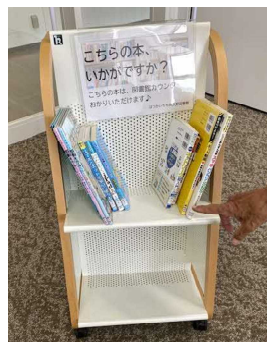
* 写真を保存して思い出が残せたり、漢字や分からないことをすぐに調べることができる

など、「悪い点だけでなく、スマホにも良い点がある」という意見が出たグループもあり、色々な意見が共有できた。

設問④：「あなたの家庭では、スマートフォン等を使う際に、どんな約束やルールがありますか。」では、家庭内でのルール作りやルールを守るためにはどうしたらよいか、などを話し合った。

* 各家庭の今の状況を話し合うことで、これから楽しくスマホと付き合うヒントがもらえたり、ルールについて見直すきっかけになった。

4. 最後に、参加者1人ずつ「今日の気づき」を発表



● 参加者の感想 (一部抜粋)

- ・時間が区切られていて、スマートに話し合いができて、楽しかった。
- ・スマホを通して、親子関係が大事！と分かった。
- ・同じ悩みを持たれている参加者の話からヒントがもらえて、安心した。
- ・子どもの立場の話を聞くことができて良かった。
- ・子どもだけの問題ではなく、親の考え方が大切なのだと思える時間になった。
- ・家族でルールを決めて正しく使えば、スマホは悪いものではない。
スマホは操っても、操られるな！
- ・スマホを長時間見ないためにどうするかなどの答えは見つからなかったけど、参加して良かった。

● ファシリテーターの感想 (一部抜粋)

- ・身近なテーマで、話がとても弾んだ。
- ・はじめは声がでにくかった班も、最後は時間が足りないくらい盛り上がった。
- ・アイスブレイクでの本読みは、これからの展開を想定でき、参加者に安心してもらえたように思う。
- ・最後に全員の気づきを発表してもらうのは、今の生の気持ちが聞けて良かった。
- ・メインとサブの連携が大切であると改めて感じた。

■ 主催者から

親プロ講座は、回を重ねるごとに、愛のある温かい場になっていて感謝します。